



ウェルフェア通信

Vol.6



湖北・海津大崎(日本の桜100選)

新春のご挨拶



グループCEO
理事長
大隈 義彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、2012年のすがすがしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は格別のご支援とご協力を賜りました。グループ職員800余名を代表しまして、皆様に厚く御礼申し上げます。

今は日本の国内外を問わず、大変な激動の時代であります。この激動の時代にあって、どのようなグループ運営を行うのか、その責任と期待の大きさを痛感する毎日ではありますが、年頭に当たり、今年の運営に関する基本的な考えをお話しさせていただきます。

昨年を振り返りますと、念願のおおくまりハビリテーション病院の増築着工にこぎつけたことが、大きな出来事でした。一般病棟と回復期リハビリテーション病棟を合計90床増床し、総病床数240床の体制といたします。超急性期から回復期までストレス無く、適切な医療を受けていただく体制を確立するための第一歩です。診療科も増やし、医療設備、機能を大幅に充実して、地域になくてはならない病院としてご信頼いただけ

るよう努力してまいります。

また大隈病院につきましては、若干の施設改善、機能改善を図りながらも、基本的には、これまで同様に地域密着の病院として急性期から慢性期まで幅広い医療を担っていきたいと考えております。

特別養護老人ホームほがらか苑、老人保健施設おおくま、在宅事業部等の介護サービス事業では、要員を増やし、より良質なサービスが提供できるように、充実してまいります。

おおくまクリニックにつきましては、かかりつけ医としての機能充実はもちろんのこと、近年、社会問題となっておりますメンタルヘルスへの対応能力も高めてまいります。

昨今の医療や介護をめぐる社会情勢は、決して楽観できるものではなく、大海を行くが如く、難しい舵取りを求められるものと思っておりますが、地域に愛されるグループを目指して、職員一同団結し、明るく、前向きに進んでいく決意であります。皆様の倍旧のご指導、ご支援を賜りたく存じます。

結びに、本年が皆様方にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症における320列CT検査について



大隈病院画像診断センター
診療放射線技師 課長

伊藤 仁

肺血栓塞栓症(pulmonary thromboembolism : PTE)とは静脈系に出来た血栓などが血流に乗って運ばれ、肺動脈に詰まって起こる病気です。これにより呼吸困難などの症状をきたし、場合によっては突然死を引き起こします。以前、話題になっていたエコノミークラス症候群(ロングフライト症候群)も肺血栓塞栓症の一つの形態です。

原因としては下肢の深部静脈血栓症(deep venous thrombosis : DVT)によるものが圧倒的に多く(90~95%以上)、下肢の深部静脈(深い部分にある静脈)に出来た血栓がはがれて血流に乗って肺に運ばれることによって肺血栓塞栓症となります。

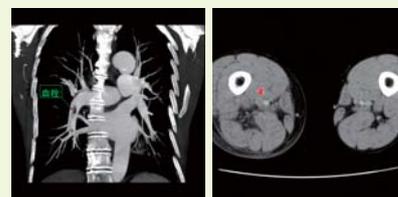
下肢の深部静脈血栓症は血液が停滞したときにできやすく、長い間寝たきりの状態(長期臥床)のときや、手術時に足の筋肉の動きを止めることによってポンプ作用が弱くなったり、止まったりする場合に起こりやすくなると言われています。他にも肥満、高齢の方、妊娠中・産後間もない方、ピル(経口避妊薬)を服用している方、心疾患、悪性腫瘍、脳卒中などの既往歴がある方、喫煙される方、骨折した方などが、この病気になりやすくなります。深部血栓で下肢静脈が閉塞しますと、皮膚色の変色、浮腫などといった症状がでます。

肺血栓塞栓症の診断には画像診断が用いられ、肺血流

の不自然な欠損や血栓の存在が証明できれば確定できます。従来は核医学検査(ラジオアイソトープ検査)が主流でしたが、現在は造影CTの優位性が証明されています。また、下肢静脈の深部静脈血栓症に対しても造影CTが診断に有効です。

当院では最新鋭の320列CTを導入しており、0.35秒もの超高速撮影で、被ばく線量を低く抑えることができます。造影剤の量も従来の64列CTの半分程度で行えるため、腎臓への負担を減らすことができます。特に被ばく線量低下の技術の進歩はすさまじく、検査の種類によっては、従来のCTに比べ30%程度の線量で検査することも可能です。さらに近日中に、AIDR 3D(改良型最新鋭被ばく低減装置)導入によって、大幅に被ばく線量を抑える予定です。検査を受けられる方はもちろんのこと、患者さんの負担を軽減することを日々考えている私たちにとっても、このCTは大変に素晴らしい医療機器と言えます。

気になる症状がありましたら、当院、かかりつけ医にご相談ください。



肺血栓塞栓症

深部静脈血栓症



肺血栓塞栓症

全国老人福祉施設協議会主催の

「第4回介護作文・フォトコンテスト」のフォト部門で最優秀賞を受賞

特別養護老人ホームほがらか苑 作業療法士 秀石 直美

受賞写真に写ったご利用者様は、昨年9月にほがらか苑で看取らせていただいた方です、ベッドの上で誕生日をお祝した様子を撮らせていただきました。その方には、介護士・看護師・管理栄養士・ケアマネ・相談員・作業療法士といった職種で幾度と話し合いを重ね、終末期の時期に応じたケアを展開していきました。もちろん、ここは特養ですから日々の生活や本人の希望を重視して、車椅子の離床が可能な時期には外出などを行いました。離床が難しくなった時期には、腹水が増加していたので寝衣をおしゃれな浴衣にしたり、好きな音楽をかけ、少しでも安楽となるように、好きな食べ物をお出しするなど、職員の心意気を存分に発揮することができました。

作業療法士の私は何をしたかと言いますと、離床・耐久性の評価、入浴方法の検討、安楽な臥位姿勢や褥瘡予防のためにポジショニングなどを行いました。ほがらか苑の一員として、役割を持って関わられたことを非常に嬉しく思っています。

社会福祉法人ほがらか会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して統合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを行動基準としています。ほがらか苑の基本理念は、「私達はあなたの歩んだ人生の重さを想い、これからの人生の重さも想い、あなたが最期に“いい人生だった”と思えるよう全力を尽くし支援します」です。入居者ひとりひとりの生活や人生を考えながら支援することで、利用者様、家族様、職員がもっと笑顔になればと思っています。ほがらか苑で働いてみて、そこに素晴らしい出会いがあり、学ばせて頂いていることが、今日の自分の糧になっているように思います。

受賞作品は、ほがらか苑の1階に展示しています。



診療紹介

歯科クリニック



大隈病院附属
歯科クリニック 院長
川口 直樹

おおくま病院附属歯科クリニックでは、一般歯科、口腔外科、訪問診療を行っています。外来診療において昨年より人工歯根（歯科用インプラント）を開始し、歯牙の欠損部を補うための選択肢を増やすことができました。また、これまで誤嚥性肺炎の予防として、口腔ケア及び咀嚼の改善を目的に義歯の作製や調整を行ってきましたが、昨年より摂食嚥下障害の評価法の一つとして嚥下内視鏡検査（VE）を導入しました。

VEの利点としては、携帯可能であるために訪問診療やベッドサイドで評価が可能である、被曝がなく検査室

も必要ないので時間が長くとることができる、通常の食品の摂食状態が評価できる、咽頭・喉頭の粘膜や組織の状態が評価できる、唾液や痰の貯留などの咽頭の衛生状態を観察できることなどがあります。



口腔から食道への一連の流れとして嚥下評価がしにくい、嚥下反射中は視野がなくなるホワイトアウトという現象が存在するために、嚥下の瞬間が見えないなどありますが、VEは外来や病床のベッド上、訪問診療でも可能で、大変に有効な検査です。1回の検査時間は約30分で、患者の負担も少なく比較的簡単に行えますのでご利用下さい。

RWG合同学術集会 アカデミア・デル・ローグ2011



H23年10月22日、尼崎中小企業センター大ホールにて、第三回アカデミア・デル・ローグが行われました。私どもの各所管より、293名が参集した盛大な学術集会となりました。当日は立ち見が出るほどの盛況ぶり、グループ職員が学術に対して高い関心度を持っている事が伺えました。

演題は多種多義にわたる10演題の報告があり、日常における業務上の工夫が盛り込まれ、その成果やアイデアは一施設にとどまらない高度な創意でありました。特別講演には兵庫医科大学救急部の上田敬博先生をお招きし『災害医療（東日本大震災DMATの活動を通して）』

の題名で、全国のDMATの役割や業務・体制、および厚生労働省の取組みなど、大震災での経験を通して詳細なご講演をいただきました。教育講演は当グループのおおくまクリニック 栢原尚之心療内科部長が、『変わりゆく精神・心療内科薬物療法（うつ病について）』を講演し、最近うつ病が増加している現状を踏まえ、うつ患者へのアプローチから治療計画について、うつ病についての深い理解を得ることができました。

今後も学術集会を毎年開催し、全職員のレベルアップに取り組んでいきます。



「メタボリックシンドロームと大腸癌」—アディポネクチンを御存知ですか？—



おおくまリハビリテーション病院
消化器内科部長
西原 承緒

脂肪細胞は単にエネルギーの貯蔵庫としてだけでなく、アディポカインと総称される生理活性物質を分泌する内分泌臓器であることが解明されています。本邦でも大きな社会問題に発展しているメタボリックシンドロームは、過食・運動不足といった現代の環境要因と遺伝要因を背景に、内臓脂肪の蓄積とこのアディポ

サイトカインの分泌異常を本態とし、脂質異常症・糖尿病・高血圧・動脈硬化性疾患をひきおこし、さらに乳癌・前立腺癌・大腸癌・肝癌などある種の悪性腫瘍の易発症状態であることも報告されています。そこで皆さんはアディポネクチンを御存知でしょうか？アディポネクチンは脂肪細胞から分泌される善玉の生理活性物質で、インスリン抵抗性改善作用・動脈硬化抑制作用・肝繊維化抑制作用・抗炎症作用・腫瘍増殖抑制作用など多彩な生理活性を有し、その血中濃度の低下

とメタボリックシンドローム・2型糖尿病・冠動脈疾患などの関連が報告されています。大腸癌・大腸腺腫では、本邦においてその血中濃度が低いほど一人当たりの発症数が多く、より大きな悪性度の高い腫瘍の発症が示され、欧米では18225人の男性を追跡調査した結果、大腸癌に罹患した179人の患者の血中アディポネクチン濃度の有意な低下が報告されています。私の大学院時代の仕事ですが、アディポネクチン欠損マウスに化学発癌物質を投与し大腸癌発症状況を検討したところ、欠損マウスは野生型マウスと比べ、1匹あたりの腫瘍数が多く、より大きく悪性度の高い腫瘍が発症しており、アディポネクチン欠損が大腸腺腫から大腸癌への成長を加速させている可能性を報告しました。

現在、大腸癌患者数は右肩あがりであり、今後ますますの増加が心配されますが、生活習慣を改善しメタボリックシンドロームから脱却できれば大腸癌発症を阻止できる可能性があります。私自身ぜひ実践したいと思いますが、皆様も気になる方は御検討を！

おおくまリハビリテーション病院 増築工事 現況報告

昨年11月下旬、基礎躯体工事が完了しました。建物の土台部分であり、かなりの時間を要しましたがこれからはピッチが上がります。

現在、新病院建築（移転）会議では、建設後の運営を見据えた上で、全員参画で、1～2階の各室（手術室・血管造影室・救急室・CCU等）の配置を検討しています。



おおくま杯サッカー大会

平成23年11月6日に開催された同大会は、スタートから24年を数え、次回は25回記念大会となる予定です。病院の近隣サッカーチームの保護者の方から、子どもたちのために、何か参加賞となるものを提供していただけないか…との申し出に応じる形で、病院の倉庫に在った医療販促品をお分けしたことから始まり、何と四半世紀に及ぶご縁となりました。

やがて優勝旗をあつらえ、日本サッカー協会公認のサッカーボールを参加賞として全チームに贈呈するようになって参りますが、年数の経過とともに、育っていく選手たちの中から、Jリーガーが誕生するまでに大会の運営もレベルも盛り上げていただいています。サポートさせていただく立場といたしましても支援すること

に誇りと喜びを感じています。

大隈病院控えテントから試合を観戦していると、選手たちをご両親から普段言われたことの無いような激しい言葉で、監督から叱られている光景をよく見かけます。まわりは、「たくさんの方の観衆の前で、そこまで選手をボロクソに怒らなくても…」と冷や冷やしながら見ていますが、保護者の方々はというと「もっと叱ってやって下さい」目線で見守られています。

地域の将来を拓く少年たちの健全な育成の一翼を担うため、私たちは大隈病院の職員をはじめ、朗源会ウェルフェアグループを挙げて、今後ともおおくま杯サッカー大会を末永く支えたいと考えています。



朗源会 ウェルフェアグループ

大隈病院

尼崎市杭瀬本町2丁目17-13 TEL. 06-6481-1667

おおくまリハビリテーション病院

尼崎市東園田4丁目23-1 TEL. 06-4960-6800

おおくまクリニック

尼崎市杭瀬北新町2丁目1-18 TEL. 06-6489-0090

大隈病院附属歯科クリニック

尼崎市杭瀬本町2丁目17-1 TEL. 06-4868-8700

介護老人保健施設おおくま

尼崎市昭和通2丁目12-8 TEL. 06-6487-3900

特別養護老人ホーム ほがらか苑

尼崎市東本町4丁目103-11 TEL. 06-4868-2533

在宅事業部

尼崎市杭瀬北新町2丁目2-8 TEL. 06-6489-2520

・北部事務所

尼崎市東園田町5丁目130 TEL. 06-4960-8885

・西部事務所

尼崎市上ノ島町1丁目14-35 TEL. 06-6420-7557

やまびこヘルパーステーション

尼崎市北大物町15-13-103 TEL. 06-6483-5775

朗源会本部

尼崎市杭瀬本町2丁目17-13 TEL. 06-6481-7711